

ひがしどおり700号記念企画！～

紹介します。

調べます！東通村史！



- ・取材・撮影
- ・各課記事校正

行事撮影や特集する人物に取材・撮影を行います
※アポ取りが重要です



- ・広報編集委員会
- ・全体最終校正

2回目の広報編集委員会を開催し、広報紙の全体的な最終校正・誤字脱字チェックします

印刷・製本
印刷業者が行います



完成♪

- ・納品
- ・各世帯配布

各地区の行政連絡員・事務員さんにお持ちし、各世帯へ配布いただいています

“広報ひがしどおり”への思い

ここでは、広報ひがしどおりについての思いを、畑中稔朗村長、元広報担当者にインタビューしました。



畑中稔朗村長

広報ひがしどおりに懸ける思いは...

まず、700号発行を非常に嬉しく思います。歴代の担当者の広報紙に懸ける思いや汗と努力の結晶ですので、毎月楽しみにしています。

広報紙は、村民のみなさまが村の情報や出来事について知るためのツールの一つです。そんな広報紙を今まで以上に充実させるためには、村民に寄り添い、身近な出来事を発信していく。それが私の思う広報紙の在り方ですので、村民のみなさまから沢山の情報をいただき、形にしていきたいと思っておりますので、これからも沢山のご意見をよろしくお願いします！

広報ひがしどおりの昔と現在...

広報ひがしどおり 700号発行おめでとうございます。私が、担当していた時は、まだデジカメが出始めた頃で、フィルムで写真を撮って、映りの良いものだけを写真屋さんでプリントしてもらっていました。レイアウトや原稿もほとんどが手書きで、原稿に関しては“フロッピー”で管理していました。今と違って、非常に原始的だったのを覚えています。

今、広報紙はどんどん変わってきていて、縦書きだったものから横書きになったり、文字を大きくしたり、写真を沢山使っていて非常に目を引きます。実は、私の時に今主流の横書きを広報紙に少し取り入れたんですよ！（笑）

これからも、村民の方々に欠かせないものであれば嬉しいです♪



元 広報担当者
現 商工観光課観光G GL
総括主幹 相馬 和史
平成15年～16年まで担当